



A 試合会場レポート

試合番号 122

開催日 2025/12/20

令和7年度 天皇杯・皇后杯 JVA全日本バレー選手権大会 男子 会場：京王アリーナTOKYO

観客数：	5,190	開始時間：	15:00	終了時間：	17:31	試合時間：	02:31	主審：	山本 晋五	副審：	林 淳一
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-----	-------	-----	------

ヴォレアス北海道

監督：クレン エド
コーチ：黒澤 一成通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	24	第1セット 【 00:29 】	26	2
	23	第2セット 【 00:32 】	25	
	26	第3セット 【 00:34 】	24	
	25	第4セット 【 00:26 】	20	
	15	第5セット 【 00:18 】	11	

ポイント 【】内はセット時間
- () 内は交代選手

東京グレートベアーズ

監督：カスパー ヴオリネン
コーチ：橋 裕也通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>											
またしてもフルセットにもつれ込むドラマチックな試合を勝ち切ることができ、チームのメンタルの強さと結束力を改めて示す試合になりました。											
最初の2セットも決して悪い内容ではありませんでしたが、いくつかの小さな部分が差となって表されました。第3セット以降はサーブが大きく改善し、エースも取れ、ブロックの数も増え、徐々に東京グレートベアーズのオフェンスを抑えることができました。チームは粘り強く戦い続け、そして何よりラックスしてプレーできていました。ビハインドの場面でも、選手たちはプロセスを信じ、この特別な雰囲気の中で試合を楽しみ続けていました。											
今日のパフォーマンスにはとても満足しています。記憶に残る試合になりました。素晴らしい雰囲気を作ってくれたファンの皆さんに感謝するとともに、5セットにわたる素晴らしい戦いを見てくれた東京グレートベアーズにも敬意を表します。これからはしっかりとリカバリーに集中し、明日の試合に向けて気持ちを切り替えます。次の試合を楽しみにしています。											

24	三好	タンメアル	第1セット	後藤	深津	26
	()	()		()	()	
	山岸	チャン		コザメルニク	村山	

リペロ：外崎 リペロ：古賀

23	三好	タンメアル	第2セット	深津	村山	25
	()	()		(大竹)	()	
	山岸	チャン		後藤	柳田	

リペロ：外崎 リペロ：古賀

26	三好	タンメアル	第3セット	後藤	深津	24
	()	()		()	(大竹)	
	山岸	チャン		コザメルニク	村山	

リペロ：外崎 リペロ：古賀

25	三好	タンメアル	第4セット	後藤	深津	20
	()	()		()	(大竹)	
	山岸	チャン		コザメルニク	村山	

リペロ：外崎 リペロ：古賀

15	三好	タンメアル	第5セット	村山	柳田	11
	()	()		()	(フェレイラ)	
	山岸	チャン		深津	クレク	

リペロ：外崎 リペロ：古賀

<監督コメント>

ヴォレアス北海道との一戦は、相手の強力なサーブに終始苦しめられ、思うように自分たちのリズムを作ることができませんでした。対応を試みる中で部分的に流れを引き寄せれる場面もありましたが、相手の勢いを止めきることができず、3セット目以降、主導権を握られる展開となりました。

この結果を受け止め、来週から再開されるリーグ戦に向けて改善していきたいと思います。

会場、そして配信を通して最後まで応援してくださった皆さま、本当にありがとうございました。引き続きご声援のほど、よろしくお願ひいたします。

<要約レポート>

天皇杯決勝に初進出を目指す、東京グレートベアーズとヴォレアス北海道の戦いが始まる。
第1セット、東京GBは序盤からクレクを中心に入球でスパイクで点数を重ねる。ヴォレアスもメルトを軸に攻撃を展開する。一進一退の攻防を繰り広げる中、お互い破壊力のあるサーブで点数を重ねる。そのまま、デュースになるも東京GBクレクの勢いは止まらず、セットを先取した。
第2セット、東京GBは勢いの止まらない。攻撃はクレクを軸に、後藤がブロック、センターラインの村山、守備でも冴えを見せる柳田が安定して点数を重ねる。ヴォレアスも司令塔山岸のトスが冴え、タンメマー・張がスパイクを決める。しかし、東京GB柳田が要所で光るレシーブで活躍しセットを連取する。
第3セット、巻き返しを図りたいヴォレアスはティモ・張のスパイクと、リペロ外崎の好レシーブで流れを引き戻す。東京GBもコザメルニクの活躍で追撃する。一進一退でゲームが進む中で、ヴォレアスは三好のサーブポイントでデュースの熱戦からセットを奪う。
第4セット、お互いに明日へ繋げたい意地から好プレーの応酬を見せる。東京GBは後藤の攻守の活躍で中盤リードするも、ヴォレアスは張の執念のスパイク、山岸のサーブポイントで逆転し、中道の連続サーブポイントで終盤リードを保ち、三好のブロックポイントでセットを連取する。
運命の最終第5セット、まずはヴォレアス中道の広角に打つ連続サーブポイントでリードする。東京GBもコザメルニクが粘りを見せるが、最後はヴォレアス三好の連続ブロックポイントがコートに突き刺さり、全員バレーが最後まで崩れることなく明日の決勝戦に駒を進めた。

作成者： 中嶋 幹朗